

▶ 日本分析化学会 2017年度有功賞受賞

当社千葉ラボラトリーの細川清美、愛媛ラボラトリーの山本潔および佐川博美の3名が、2017年9月11日公益社団法人日本分析化学会より「2017年度有功賞」を受賞しました。多年にわたり分析の実務に従事し、様々な分野のお客様のご要望にお応えしてきた実績が認められたものです。

細川は、千葉地区にて水質、大気、土壌、廃棄物など環境試料の分析試験を担当して技術を磨いた後、樹脂製品の工程内および出荷検査にかかる分析業務に従事し、環境保全、工場の安定操業・品質管理を支えて参りました。山本および佐川は、共に愛媛地区で幅広い製品分析の分析業務に従事し、山本は有機・無機分析を中心に新たな手法の導入や前処理を含む分析条件の最適化・合理化を進め、また佐川は化学反応を伴う化学分析や機器分析の幅広い知見を基にお客様と向き合い、いずれもその分析技術を伸展させて参りました。

受賞者3名はいずれも30年以上にわたって、卓越した技術



千葉ラボラトリー 細川 愛媛ラボラトリー 山本 愛媛ラボラトリー 佐川

と実績、そして品質への高い意識を持って業務に取り組んで参りました。現在は、自らの分析技術を研鑽し続ける努力に加え、それを「経験知」と共に若手技術者へ伝え育成することにも力を注いでおり、これが当社の技術を支える礎となっております。

今後も当社は、お客様に信頼される分析結果を提供するため、たゆまぬ努力を継続して参ります。

主な投稿論文・口頭発表等

2017.5→2017.10

投稿論文

【電子分野】

API-MSを用いた水蒸気バリア測定
[書籍]「有機エレクトロニクス封止バリア技術の開発」(朝倉エムシー出版発行)第3編 第19章 189 (2017)

高萩 寿 (筑波ラボラトリー)
当社が開発した API-MS 法は、有機 EL 等のフレキシブル基板やデバイス接着部における極めて低い水蒸気透過度を測定できる。フレキシブル基板で要求される 10⁻⁶ g/m²/day の水蒸気透過度の評価を達成し、さらに、接着剤単体だけでなく、接着剤と基板等の接着界面の透過も評価可能な手法を開発した。

高信頼性・高感度水蒸気透過度測定技術 API-MS 法の開発
[近畿化学工業界 (6月号)] (近畿化学協会発行) 69 (6), 15 (2017)

高萩 寿、大園佳子*1、行嶋史郎*2 (筑波ラボラトリー、*1 技術開発センター、*2 電子事業部)
本研究では、API-MS 法を開発しフィルム基板の測定手法を確立した。また、実際のデバイス構成における周辺封止の接着部からデバイス内部への水蒸気侵入量を測定した。さらに次世代化学材料評価技術研究組合に参画し、これら手法の信頼性および有効性を明確にした。確立した手法は、ISO に登録された。

有機 EL デバイス製造におけるプロセス汚染評価の重要性 - 真空チャンパー由来の不純物評価 -
[住友化学 技術誌 2017] 53-57 (2017)

今西克也、* 末包高史 (技術開発センター、* 愛媛ラボラトリー)

有機 EL デバイスの製造過程で混入する微量の有機不純物に着目し、それらがデバイスの寿命劣化を引き起こす一要因であることを明らかにした研究事例を元に、デバイスの寿命向上や製造の安定化に必要となるプロセス汚染評価技術とその重要性について紹介した。

【工業支援分野】

長期信頼性の確保に向けた電極及び製造工程におけるアプローチ
[書籍]「リチウムイオン二次電池 - 高容量化・特性改善に向けた部材設計アプローチと評価手法 -」(樹情報機構発行) 第5章 第2節 230-238 (2017)

木村 宏 (工業支援事業部)
リチウムイオン二次電池の信頼性確保には、電極、セル製造の管理が重要である。当社は、電極合剤の分散性を数値化する分析技術を開発し、分散性が電池性能にどのように影響を与えるのかの検証を行った。本稿では、1. 電極製造、2. セル製造、3. デバイスへのセル組み込み工程において、確認すべき分析項目を紹介する。

【医薬分野】

医薬品開発における抗薬物抗体分析の現状と課題
[医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス] (一般財団法人医薬品医療機器レギュラトリーサイエンス財団発行) 48 (5), 282-291 (2017)

田中 登*1、角辻賢太*2、北野未知*3、笹原里美*4、清水浩之*5、相馬雅子*6、高村不二子*7、花田智彦*8、細木 淳*9、野村達希*10、宮 和弘*11、宮本裕恵*12、山本健一*13
(*1 JCR ファーマ株、*2 大日本住友製薬株、*3 富士フィルム RI ファーマ株、

*4 東和薬品株、*5 関東レリサーチセンター、*6 第一三共株、*7 アステラス製薬株、*8 日本新薬株、*9 協和発酵キリン株、*10 朝新日本科学、*11 中外製薬株、*12 大阪ラボラトリー、*13 朝 LSI メディエンス)
抗薬物抗体 (ADA) 分析に関して、Japan Bioanalysis Forum (JBF) の少人数のディスカッショングループで4年間に渡り、製薬企業、開発業務受託機関の ADA 分析担当者が議論を重ねた。JBF シンポジウムで議論した内容を発表し、その成果を本稿に取りまとめた。

Giving Consideration to Scientific Validation in Japanese Drug Application by Japan Bioanalysis Forum DG2015-16 and DG2016-20

[Bioanalysis] (Future Science 発行, Vol. 9, No.13, 963-968 (2017))
小関 望、戸田琢希*1、石井琢帆*2、内村隆秀*3、小野敬太*4、栗山早織*5、戸田亜希子*6、副島呉竹*7、中井直子*8、西村直浩*9、真弓 剛*10、安田 穂*11、山川達也*12、丹羽 誠*13
(杏林製薬株、*1 科研製薬株、*2 樹サンプラネット、*3 朝中外医薬品科学研究所、*4 大鵬薬品工業株、*5 日本新薬株、*6 朝新日本科学、*7 Meiji Seika ファルマ株、*8 第一三共株、*9 大阪ラボラトリー、*10 全星薬品工業株、*11 関東レリサーチセンター、*12 富士フィルム株、*13 日本化薬株)

Scientific Validation (SV) は、医薬品開発を効率的に進めるために提案された分析法評価の概念であり、前臨床および初期臨床における未変化体および代謝物の濃度測定に適用される。SV の国内活用状況を調査した結果、初期臨床における未変化体濃度測定を除き、NDA に用いられていた。

口頭発表等

【環境分野】

日本人母乳のビタミンD含量の実態 - エコトピ調査の追加調査より -
○鈴木美記子、豊田なつ来、木内 俊、長田昌士、文英英隆*1、川端輝江*2、藤原幾庵*3、仲井邦彦*3 (朝明治、*1 大阪ラボラトリー、*2 女子栄養大学、*3 東北大院院)
第71回日本栄養・食糧学会大会 (沖縄コンベンションセンター)、2017年5月19日-22日

Mass fragment and neutral loss database for non-target environmental analysis by liquid chromatography/high resolution mass spectrometry

○鈴木 茂、高沢麻里、長谷川敦子*1、上堀美智子、吉田寧子*2、瀧井昌彦*3、大塚あり*4、四ノ宮美保*5 (中部大学、*1 神奈川環境研究センター、*2 技術室、*3 アジレント・テクノロジー株式会社、*4 佐賀県衛生事業センター、*5 埼玉県立大学)
The 65th ASMS (American Society for Mass Spectrometry) Annual Conference (インディアナポリス 米国)、2017年6月4日-8日

【電子分野】

Influence of vacuum chamber impurities on OLED degradation
○藤本 弘*1、2、末包高史*3、今西克也*3、柚木脇 智*1、韋 宏*4、永吉 香*1、八尋正幸*1、2、5、安達千波矢*1、2、5 (*1 有機エレクトロニクス実用化開発センター、*2 九州大学、*3 技術開発センター、*4 大阪ラボラトリー、*5 公益財団法人九州先端科学技術研究所) SID International Symposium, Seminar & Exhibition (Los Angeles, California, USA)、2017年5月21日-26日

軟X線による機能性有機薄膜の構造解析

○末包高史、高橋永次、東 進介、三下泰子、村松司*1、硯里善幸*2 (技術開発センター、*1 兵庫県立大学、*2 山形大学)
第77回分析化学討論会 (龍谷大学 京都)、2017年5月27日-28日

計算化学による有機 EL 分子の安定性の解析

○稲田 工*1、*2、藤本 弘*1、*3、Atula S. D. Sandanayaka*1、*2、八尋正幸*1、*3、*4、柚木脇 智*3、末包高史*5、今西克也*6、韋 宏*7、安達千波矢*1、*2、*3、*4 (*1 九州大学最先端有機エレクトロニクス実用化開発センター (i³-OPERA)、*2 JST ERATO、*3 有機エレクトロニクス実用化開発センター (i³-OPERA)、*4 九州先端科学技術研究所 (ISIT)、*5 愛媛ラボラトリー、*6 技術開発センター、*7 大阪ラボラトリー)
有機 EL 討論会 第24回例会 (NHK 放送技術研究所 東京)、2017年6月15日-16日

アウトガス発生要因と分析技術

野中辰夫 (電子事業部)
朝 R&D 支援センター主催技術セミナー (江東区文化センター 東京)、2017年6月29日

有機 EL デバイスの寿命に影響を及ぼす真空チャンパー由来の微量不純物の解析

○末包高史、今西克也*1、韋 宏*2、安達千波矢*3、*4、*5、藤本 弘*3、*4、柚木脇 智*4、永吉 香*4、八尋正幸*3、*4、*5 (愛媛ラボラトリー、*1 技術開発センター、*2 大阪ラボラトリー、*3 九州大学最先端有機エレクトロニクス実用化開発センター (i³-OPERA)、*4 有機エレクトロニクス実用化開発センター (i³-OPERA)、*5 九州先端科学技術研究所 (ISIT))
公益社団法人 高分子学会有機エレクトロニクス研究会主催有機エレクトロニクス研究会 (東工大蔵前会館ロイヤルホール)、2017年7月31日

Achievement of long device lifetime by decreasing dipole moment of hole-blecking layer

○稲田 工*1、2、藤本 弘*1、3、八尋正幸*1、3、柚木脇 智*3、柳原圭子*1、中村 望*1、Atula S. D. Sandanayaka*1、2、末包高史*4、韋 宏*5、今西克也*6、安達千波矢 1、2、3 (*1 九州大学最先端

有機エレクトロニクス研究センター (OPERA)、*2 JST ERATO 安達分子エキシトニクスプロジェクト、*3 有機エレクトロニクス実用化開発センター (i³-OPERA)、*4 愛媛ラボラトリー、*5 大阪ラボラトリー、*6 技術開発センター)
SPIE. Optics + Photonics (サンディエゴ 米国)、2017年8月7日

放射光による機能性有機薄膜の構造解析

高橋永次 (技術開発センター)
SALLC オープンセミナー 2017 (神戸市産業振興センター)、2017年8月25日

軟・硬 X 線による機能性有機薄膜の構造解析

○東 進介、高橋永次*、小林秀雄、三下泰子、末広吾吾* (技術開発センター、* 大阪ラボラトリー)
第14回 Spring-8 産業利用報告会 (川崎市産業振興会館)、2017年8月31日-2017年9月1日

電子線マイクロビーム分析 (EPMA) の国際標準化 - 微小部簡便分析法 (EPMA 分析) の国際規格 -

久田見美子 (筑波ラボラトリー)
JSCA 表面化学分析国際標準化セミナー 2017 (幕張メッセ国際会議場)、2017年9月6日

水素利用技術研究開発事業 / 燃料電池自動車及び水素供給インフラの国内規制適正化、国際調和・国際標準化に関する研究開発 / 水素ステーションにおける水素ガス品質管理方法の国際標準化に関する研究開発
金子彰一、百瀬知信* (一般社団法人 水素供給利用技術協会、* 技術開発センター)
国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構主催平成 29 年度 NEDO 新エネルギー成果報告会 (U²シビック横浜アネックスホール)、2017年9月19日

【工業支援分野】

導電助剤の分散性評価技術と電極の構造解析

木村 宏 (工業支援事業部)

㈱技術情報協会主催セミナー (㈱技術情報協会 東京・五反田), 2017年5月9日

異物混入の析・成分同定・原因説明技術―事例を中心として―

末広省吾 (大阪ラボラトリー)

㈱TH企画セミナーセンター主催セミナー (連合会館 東京), 2017年5月23日

超高強度 TRIP 型ベイニティックフェライト鋼板の耐水素脆化特性に及ぼす予びずみ付与の影響

○森 一樹, 菊池梨子, 北條智彦*1, 脇 裕之*2, 西村文仁*2, 鶴岡優子*3 (若手大院,*1 東北大学,*2 若手大学,*3 千葉大学)

日本材料学会第66期通常総会・学術講演会 (名城大学天白キャンパス), 2017年5月27日

高角度分解能電子チャネルリング法によるLiNi_{0.9}Co_{0.15}Al_{0.05}O₂劣化状態解析

○山本 悠*1, 2, 大塚真弘*1, 武藤俊介*3 (*1 名古屋大院,*2 筑波ラボラトリー,*3 名古屋大学未来材料・システム研究所)

第73回 日本顕微鏡学会学術講演会 (札幌コンベンションセンター), 2017年5月30日-6月2日

シクロデキストリン結合型キラル固定相の新展開

西岡亮次 (大阪ラボラトリー)

第311回液体クロマトグラフィ―研究懇談会 (東洋製罐グループホールディングス㈱本社 東京), 2017年5月31日

医療機器・材料のケミカルキャラクタリゼーション

福永辰也 (千葉ラボラトリー)

第22回 一般財団法人食品薬品安全センター 素野研究所医療機器安全性試験セミナー (国立オリンピック記念青少年総合センター 東京), 2017年6月8日

海外ドラッグマスターファイル (DMF) 制度の概要

島村尚史 (クライアントサービス本部 安全性評価・RS 推進部)

第22回 一般財団法人食品薬品安全センター 素野研究所医療機器安全性試験セミナー (国立オリンピック記念青少年総合センター 東京), 2017年6月8日

Effects of Strain Rate on the Hydrogen Embrittlement Properties of 1180 MPa grade Ultra High-strength Low-alloy TRIP-aided Steels

○北條智彦, 菊池梨子*1, 脇 裕之*1, 大熊隆次*2, 鶴岡優子*2 (東北大学,*1 若手大学,*2 千葉ラボラトリー)

5th International Conference on Steels in Cars and Trucks (アムステルダム オランダ), 2017年6月21日

リチウムイオン二次電池の安全・性能評価手法

火口崇之 (筑波ラボラトリー)

㈱日本テクノセンター主催セミナー (㈱日本テクノセンター研修室), 2017年6月23日

車載用リチウムイオン電池の性能と安全を保障するための高度解析技術の開発

島田真一 (工業支援事業部)

一般社団法人日本粉体工業技術協会主催 2017年度第1回電池製造技術分科会 (東京大学生産技術研究所), 2017年6月30日

長寿命化・信頼性向上のためのリチウムイオン二次電池劣化解析―電池材料開発のための電池特性と材料観察・分析結果の関与―

木村 宏, 末広省吾* (工業支援事業部,* 技術開発センター)

㈱サイエンス&テクノロジ―主催セミナー (㈱サイエンス&テクノロジ―), 2017年7月13日

【化学物質危険性体感セミナー】(協賛: 岡山大学)

① Formosa-IL 社蒸気雲爆発事故の教訓/② Imperial 社粉塵爆発事故の教訓

菊池武史 (工業支援事業部)

化学物質危険性体感セミナー (岡山大学), 2017年8月8日

熱伝導性, 熱膨張・収縮の測定と評価技術

梶石拓也 (千葉ラボラトリー)

㈱技術情報協会主催セミナー (㈱技術情報協会 東京・五反田), 2017年8月8日

エネルギーデバイス開発への先端顕微鏡技術の活用

○松尾神史, 齋藤智浩, 島田真一*1, 島田 健*2 (筑波ラボラトリー,*1 工業支援事業部,*2 千葉ラボラトリー)

文部科学省「ナノテクノロジープラットフォーム」事業 微細構造解析プラットフォーム 構造解析連絡協議会合同セミナー (国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) 東京本部別館), 2017年8月29日

超高強度低合金 TRIP 鋼の耐水素脆化特性に及ぼす予びずみ付与の影響

○北條智彦, 森 一樹*1, 鶴岡優子*2, 秋山英二 (東北大学,*1 若手大学大学院,*2 千葉ラボラトリー)

一般財団法人日本鉄鋼協会主催第1174回秋季講演大会 (北海道大学), 2017年9月7日

超高強度 TRIP 型ベイニティックフェライト鋼の水素脆化破壊挙動に及ぼす予びずみ速度の影響

○北條智彦, 菊池梨子*1, 鶴岡優子*2, 秋山英二 (東北大学,*1 若手

大学大学院,*2 千葉ラボラトリー)

一般財団法人日本鉄鋼協会主催第1174回秋季講演大会 (北海道大学), 2017年9月8日

Dust Explosion

菊池武史 (工業支援事業部)

AIChE/CCPS及び岡山大学主催学生ワークショップ (岡山工科大学シジョンセンター), 2017年9月11日

非貴金属系三元触媒として Cu/CeO₂-ZrO₂ の触媒性能

○花本浩平, 東 遙介, 羽田政明 (名古屋工業大学,* 技術開発センター)

一般社団法人触媒学会主催第120回触媒討論会 (愛媛大学), 2017年9月12日-14日

Effects of Hydrogen on Tensile Properties at Slow Strain Rate of Ultra High-Strength TRIP-aided Bainitic Ferrite Steels

○北條智彦, 鶴岡優子,* 秋山英二 (東北大学,* 千葉ラボラトリー)

The International Conference on Technology of Plasticity 2017 (ケンブリッジ大学 英国), 2017年9月19日

ISO/TC202/WG8 Progress report for ISO/DIS 20720

久田良美季 (筑波ラボラトリー)

The 24th Plenary Meeting of ISO/TC 202 "Microbeam Analysis" (National Physical Laboratory 英国), 2017年9月20日-22日

事例を中心とした混入異物の分析・原因説明技術

末広省吾 (大阪ラボラトリー)

工業技術会㈱主催講習会 (半蔵門 JCII ビル 東京), 2017年9月22日

ゴム製品の構造解析と物性評価の事例紹介 (第一部: 変色・着色, 構造解析)

川上純子 (千葉ラボラトリー)

岡山県工業技術センター主催「ゴム技術講習会―ゴム製品のものづくり技術―」(テクノサポート岡山), 2017年9月27日

ゴム製品の構造解析と物性評価の事例紹介 (第二部: 接着, 製品間比較)

梶石拓也 (千葉ラボラトリー)

岡山県工業技術センター主催「ゴム技術講習会―ゴム製品のものづくり技術―」(テクノサポート岡山), 2017年9月27日

ゴム製品等からの発生ガス評価の事例紹介

坂本保子 (千葉ラボラトリー)

岡山県工業技術センター主催「ゴム技術講習会―ゴム製品のものづくり技術―」(テクノサポート岡山), 2017年9月27日

化学プラントの定量的リスクアセスメントの考え方

菊池武史 (工業支援事業部)

特定非営利活動法人安全工学学会主催第17回安全工学地域セミナー (住友化学株式会社 生産安全基盤センター 愛媛県新居浜市), 2017年9月29日

【電子&工業支援分野】放射光活用による SCAS の分析ソリューション提供

末広省吾 (技術開発センター)

東北放射光施設 (SLIT-J) 第1回コウリションコンファレンス (日本橋ライフサイエンス HUB 東京), 2017年7月26日

フレキシブル有機エレクトロニクスにおけるバリアフィルムおよび接着剤の水蒸気透過度測定技術とデバイス劣化

○大岡佳子, 高萩 寿 (筑波ラボラトリー)

プラスチック成形加工学会第25回秋季大会 (大阪国際会議場 (グランキューブ大阪)), 2017年10月31日

【医薬分野】コモンマモセット微量採血による複合型反復投与毒性試験

浦野浩司 (公益財団法人実験動物中央研究所)

※共同実験企業機関: ㈱イナリサーチ・(㈱住化分析センター)

第64回日本実験動物学会総会 (ビッグバレット福島), 2017年5月25日-27日

薬物動態における LC/MS 解析

上田和広 (大阪ラボラトリー)

第41回質量分析講習会 (大阪大学), 2017年6月22日-23日

マイクロサンプリングの技術的課題とその対策 (JBF DG2016-21 によるアンケート調査及び文献調査より)

○大迫浩二, 家木克典*1, 木下尚之*1, 公平陽子*2, 斎藤嘉朗*3, 中井恵子*4, 難波英太郎*5, 二橋陽一郎*6, 長谷川拓郎*7, 原田智隆*8, 山根真一*8 (興和㈱)*1 ㈱新日本科学,*2 大阪ラボラトリー,*3 国立医薬品食品衛生研究所,*4 ㈱LSIメディエンス,*5 中外製薬㈱,*6 塩野義製薬㈱,*7 ㈱ボリサーチセンター,*8 橋本メディカル㈱)

第44回日本毒学会学術年会 (JVFパシコ横浜), 2017年7月10日-12日

ICH Q3D における元素不純物分析の実施と試験法設定及びバリデーションデータの取得

東 秀幸 (大阪ラボラトリー)

サイエンス&テクノロジ―(株)主催技術セミナー (芝エクレントビル 東京), 2017年7月20日

ICH Q3D ガイドラインに対応する医薬品中の元素不純物分析の進め方

留意点・日米欧3種規制, 品質管理, 評価法など事例を踏まえ解説

東 秀幸 (大阪ラボラトリー)

㈱情報機構主催技術セミナー (江東区産業会館 東京), 2017年8月24日

Scientific Validation について考えるー JBF DG 活動の成果ー

○小関 望*1, 芦澤紘子*2, 石井琢帆*3, 内村隆秀*4, 小野敬太*5, 栗山早織*6, 戸田亜希子*7, 副島真竹*8, 中井直子*9, 西村直浩*10, 真弓 剛*11, 安田 穂*12, 山ノ内達也*13, 丹羽 誠*14 (*1 杏林製薬㈱,*2 科研製薬㈱,*3 ㈱フジフロンティア,*4 ㈱中外医学研究所,*5 大鵬薬品工業㈱,*6 日本新薬㈱,*7 ㈱新日本科学,*8 Meiji Seika ファルマ㈱,*9 第一共㈱,*10 ㈱住化分析センター,*11 全星薬品工業㈱,*12 ㈱東レリサーチセンター,*13 富士フイルム㈱,*14 日本化薬㈱)

第30回バイオメディカル分析化学シンポジウム (東京大学大学院薬学系研究科講演室), 2017年8月28日

製剤評価における ICH Q3D (元素不純物) への対応ー製剤のリスクアセスメントの現状と進め方ー

東 秀幸 (大阪ラボラトリー)

メルクファーマシンポジウム2017 (品川シーズンテラスカンファレンスホール), 2017年9月12日

【化学品安全分野】国内外における GHS・SDS の最近の動きについて

中谷圭吾 (化学品安全事業部)

「化学工業日報社主催 (SDS セミナー) GHS 対応 国内向けラベル・SDS 作成実務」第1講 (薬業健保会館 東京), 2017年5月23日/ (大阪科学技術センター), 2017年5月26日

国内向けラベル・SDS 作成実務

田島雪乃 (化学品安全事業部)

「化学工業日報社主催 (SDS セミナー) GHS 対応 国内向けラベル・SDS 作成実務」第2講 (薬業健保会館 東京), 2017年5月23日/ (大阪科学技術センター), 2017年5月26日

世界の化学品規制の潮流ーアジア (中・韓・台)・日本・欧州・米国を中心にー

林 まき子 (化学品安全事業部)

公益社団法人 日本化学会近畿支部主催第24回化学安全講習会 (大阪科学技術センター), 2017年8月7日

化学物質の複数国同時登録申請ー戦略的アプローチのご提案ー

林 文 (化学品安全事業部)

化学工業日報社主催化学物質管理ミーティング2017(パシフィコ横浜), 2017年8月24日

事業のグローバル化と各国ルールに従った SDS・ラベル表示の重要性について

中谷圭吾 (化学品安全事業部)

化学工業日報社主催化学物質管理ミーティング2017(パシフィコ横浜), 2017年8月25日

日本企業から見た TSCA

空岡裕子 (化学品安全事業部)

化学工業日報社主催「米國法規制セミナー」 「TSCA 改正の概要2017」(アイビーホール 東京), 2017年10月5日

住化分析センター主催セミナー

【環境分野】製薬機器の粒子封じ込め性能評価ー基本の考え方を中心にー

上田朋恵 (製薬事業部)

㈱住化分析センター主催医薬品製造におけるリスクマネジメントと事故防止の為に評価セミナー (住友クラブ 大阪), 2017年7月19日

【工業支援分野】暴走反応危険性と反応の安全対策 / 暴走反応事故事例ー T2 Laboratories 社暴走反応事故の教訓ー

菊池武史 (工業支援事業部)

㈱住化分析センター主催医薬品製造におけるリスクマネジメントと事故防止の為に評価セミナー (住友クラブ 大阪), 2017年7月19日

危険性評価試験のご紹介ー反応危険性評価ー

横井 曉 (製薬ラボラトリー)

㈱住化分析センター主催医薬品製造におけるリスクマネジメントと事故防止の為に評価セミナー (住友クラブ 大阪), 2017年7月19日

【医薬分野】ICH Q3D に対応する元素不純物リスクアセスメントの実際

東 秀幸 (大阪ラボラトリー)

㈱住化分析センター主催医薬品製造におけるリスクマネジメントと事故防止の為に評価セミナー (住友クラブ 大阪), 2017年7月19日

【工業支援分野&医薬分野】異物分析ー混入原因説明のためにー

末広省吾 (技術開発センター)

㈱住化分析センター主催医薬品製造におけるリスクマネジメントと事故防止の為に評価セミナー (住友クラブ 大阪), 2017年7月19日

【電子&工業支援分野】高熱伝導材料の熱物性評価技術ー車載材料を中心とした分析事例ー

梶石拓也 (千葉ラボラトリー)

先端車載放熱技術を支える分析技術の進展 (御茶ノ水ソラシティプラザ 東京), 2017年11月8日

編集後記

住化分析センターの技術広報誌 SCAS NEWS 2018-I 号 (通巻第47号) をお届けします。今号のテーマは、「人と産業の未来を拓く機能性材料の評価技術」です。表紙には、様々な機能性が注目される蜘蛛の糸を選びました。新素材が暮らしを変える「未来」と優しい「春」の訪れを感じさせてくれる写真です。

巻頭では、東京大学磯貝明先生より「セルロースナノファイバーのナノ構造解析・評価方法の構築」と題して、我が国が世界をリードして次世代の循環型社会基盤を構築できる

可能性と、実用化に向けての基礎的課題について、期待を込めて提言いただきました。

また、名古屋工業大学羽田政明先生からは、「自動車排ガス浄化触媒の *in situ/operando* 評価手法」と題して、日々進化する自動車用排ガス浄化触媒を実使用環境下で動的に挙動解析できる観測手法や、モノリス型触媒内部の反応ダイナミクスを直接観測して評価する手法など、貴重なご研究の一端を紹介いただきました。

今号の企画は愛媛ラボラトリーが担当しました。愛媛が得意とする複数の技術を組み合わせた多角的な分析評価技術を中心に、他の

ラボラトリーや関連事業部とも協働して「触媒特性評価」や「トリプル四重極型 ICP-MS を用いた極微量金属分析」、「化粧品

の構造解析と毛髪のイメージング解析」といった旬の話題をお届けしました。加えて、当社サービスを支える基盤技術として「滴定」の手分析の事例をご紹介します。

当社は今後も、これまでに培ってきた技術を大切に継承しながら柔軟な発想を育て、一層の技術開発を推進して参ります。これからも皆様のパートナーであり続けたい。そして、頼っていただける存在でありたいと願っています。

M・K